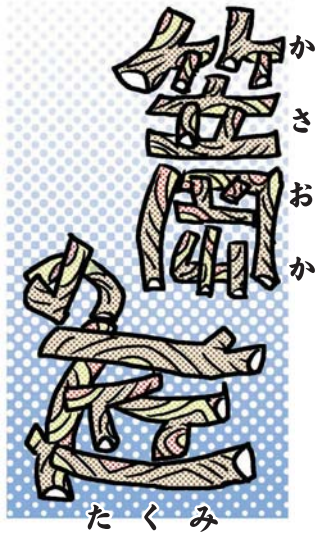


巡回展のご案内
第61回春の院展

会期：7月12日～23日
会場：倉敷市立美術館
☎086-425-6034
匠の作品も展示されます。



第八回 日本画
瀬納匠美さん (西大島)



腕に確かな技術を持つ人がいる。その腕で作られるものが人々を魅了する。このコーナーでは、そんなキラリと光る技を持つ「匠」たちを紹介します。

新秋
145×70cm

神庭の滝に暮らす日本猿の親子をモチーフとしたこの作品で、昨秋に瀬納さん。20年前に職場の同僚が持ついた院展の図録を初めて目にしたとき、大きなカルチャーショックを受けたんです。一瞬で日本画の世界のとりこになりました。と、言われるように、本格的に日本画の技法を学ばれたのは約10年前から。最近の創作活動は「院展を中心に大作に取り組みたい」と、一年間に描き上げる作品は数少なく、構成や色目や醸し出す雰囲気の高めると、心をかけています。私にとつて画業は、自分自身を磨くための試金石なわけです。「そして、日本画の奥深さを素晴らしさで、多くの人に感じてもらいた」ということが一番の願いです。と、理想を求めました。熱い

展覧会と行事のご案内

《特別展》生誕110年記念
凝視の目 徳岡神泉
～7月17日(月・祝)
竹喬と並び称される徳岡神泉の、西日本初の大規模な回顧展。
ギャラリートークは
7月15日(土)13:30～

〈大人のための版画教室〉
7月30日(日)リノカット
7月31日(月)和紙孔版
13時～17時 実費負担
講師：藤川汎正氏
(洋画家・銅版画家)
各回20名募集、要予約

〒714-0087
笠岡市六番町1-17
☎63-3967
ホームページ
<http://www.city.kasaoka.okayama.jp/0013/0001.html>

「私のうちの応接間から庭越しに見た画材である。等持院境内の楠がバックとなって、私の庭の桜の幹を引立たせているところが面白かった。桜の枝のリズミカルな所と、楠のかたまりの量との対比に興味があった」
(竹喬のことば)

京都において、竹喬は大正11年より等持院に住んでいる。初め南町に、ほどなくしてアトリエのあった北町に移り、晩年までそこを住いといた。日々眼にする自宅からの景色も新鮮な気持ちでスケッチされる。ここでは、黒々とした桜の幹が、大きく空を覆う楠の前でくつきりと際立っている。



竹喬美術館の光彩 43

樹

小野竹喬 作
制作年不詳
21.5×30.4cm

今月の表紙

弾けんばかりの笑顔で夢中になっている子どもたち。商店街に夏を告げる恒例の土曜夜市が始まりました。金魚すくいや、輪投げ・ヨーヨー釣りのほか、趣向を凝らした楽しいアトラクションが満載で、涼を求めに繰り出す人で近年になく賑わっています。

少子・高齢化で後継者不足に悩まされる商店街ですが、にぎわいの創出に積極的に取り組まれています。

子どもから高齢者まで、いつもの笑顔のあふれるまち笠岡。土曜夜市は7月22日まで催されます。

係から

4年に一度のサッカーの祭典ワールドカップ！皆さん毎日眠い目をごすりながら観戦しているのではないですか？決勝戦まであと一週間、世界最高峰の選手たちが繰り広げる数々のスーパースタリに酔いしれましょう！さて、7月となり、いよいよ本格的な夏がやってきます。海水浴、キャンプ、夏祭りなど、楽しい事がたくさんありますね。私も色々な事に参加していきたいと思っています。みなさんも計画を立てて、充実した夏を過ごしましょう。

(土)



中野素嗣 土屋武之

発行日／平成18年7月1日
発行／笠岡市役所
編集／企画政策課
〒714-8601 笠岡市中央町1-1
☎69-2110

印刷／(株)国輝堂 ☎67-5111

笠岡市ホームページ：<http://www.city.kasaoka.okayama.jp>
メールアドレス：kouhou@city.kasaoka.okayama.jp



※この広報は再生紙を使用し地球環境にやさしい植物性大豆油インキで印刷しています。

100 古紙配合率100%の再生紙を使用しています